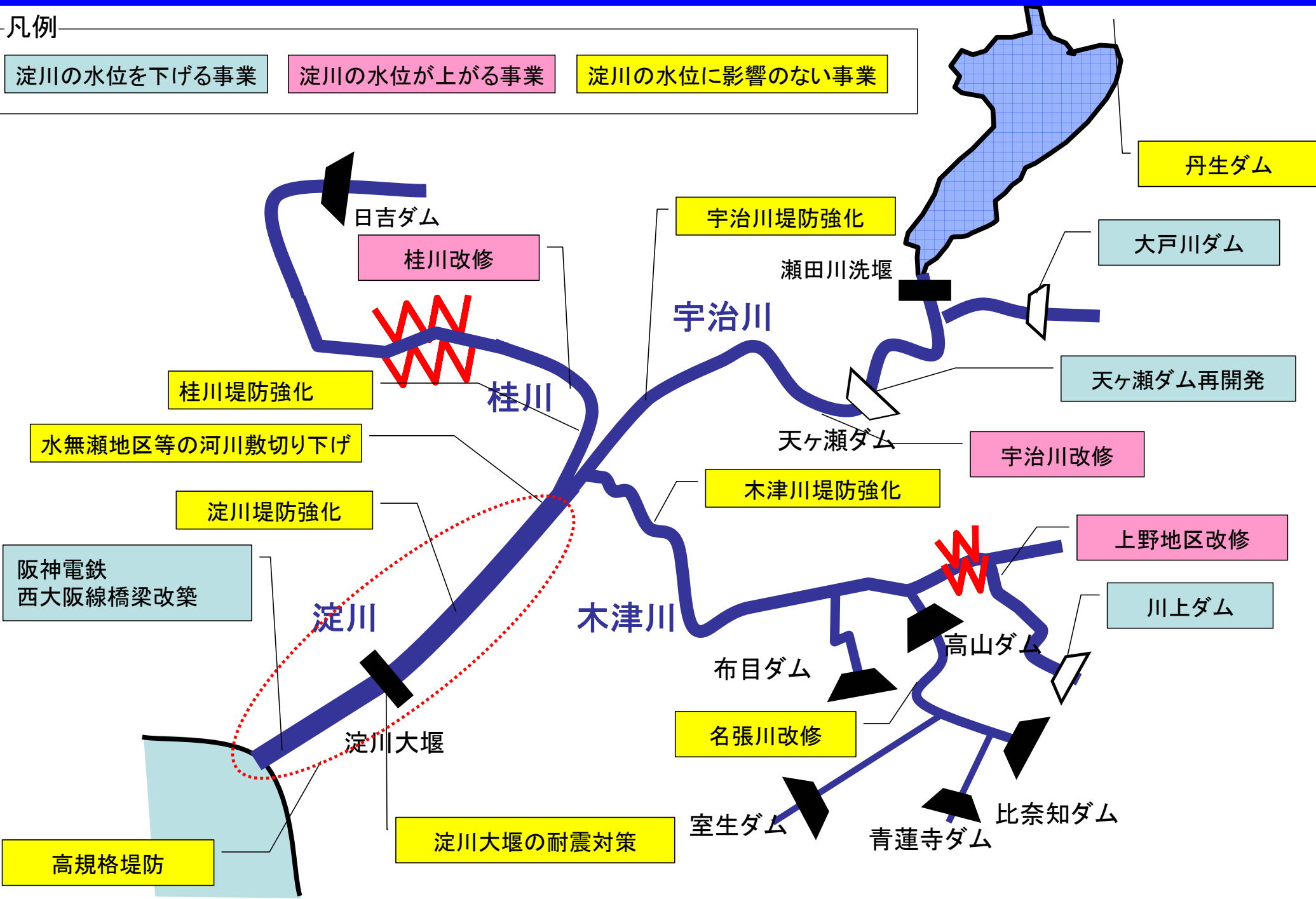


整備計画で実施する治水対策

凡例

- 淀川の水位を下げる事業
- 淀川の水位が上がる事業
- 淀川の水位に影響のない事業



淀川水系河川整備計画策定の流れ

■河川法に基づき以下の手続きを実施

平成19年8月16日 河川整備基本方針の策定

(各府県知事も参加した社会資本整備審議会での審議を経て国土交通大臣が作成)



平成19年8月28日 河川整備計画原案(意見聴取のためのたたき台)の作成



学識者の意見聴取 (流域委員会)	流域住民の意見聴取	自治体の長の意見聴取	地元住民との対話プロセス (ダムについて)	関係府県との調整
<ul style="list-style-type: none">・委員会を20回開催・延べ約90時間の審議・H20.4.25に流域委員が「意見書」提出	<ul style="list-style-type: none">・住民意見交換会を34会場で実施、約1,450名の方が出席・新聞折り込み、HP等様々な方法により約5,400名から意見等	<ul style="list-style-type: none">・流域市町村長懇談会を計3回実施・延べ75市町村が参加し約160意見・H19.12.28に82市町村長から意見書・個別意見聴取として約300意見	<ul style="list-style-type: none">・大津市、伊賀市で15回開催・約350名が参加	<ul style="list-style-type: none">・6府県の会議を9回開催・その他、個別の問い合わせ等に随時対応



淀川水系河川整備計画(案)の作成

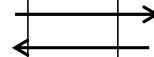


平成20年6月20日 府県知事への意見聴取
(照会)

回答

各府県知事経由

市町村長への意見聴取



淀川水系河川整備計画の策定

可及的速やかに

戦後最大洪水を安全に流下させるための方策

現状を踏まえて緊急的に着手(継続)すべき事業等

【水系全体】

危機管理体制の構築、堤防強化

【淀川本川】

阪神電鉄西大阪線淀川橋梁架替

【宇治川】

塔の島河道掘削、天ヶ瀬ダム再開発

【木津川】

上野遊水地、川上ダム、名張川河道掘削

【桂川】

大下津地区引堤、下流部の低水路内掘削

【猪名川】

河道掘削

上下流の河川整備進捗や水害の発生状況、国・自治体の財政状況などを考慮しながら計画的に実施すべき事業

【淀川本川】

水無瀬地区等の河川敷切り下げ

【木津川】

上野地区河道掘削

【桂川】

河道掘削

【瀬田川】

瀬田川河道掘削

【大戸川】

大戸川ダム

大戸川ダムの付替道路について

- ◆ダムを造ることで現在使用している道路が水没。
- ◆そのため補償工事として付替道路の整備が必要。
- ◆ダムを造らない場合は現在使用している道路を使い続けることが可能。

平成10年3月 移転完了



大鳥居地区 移転先



大津信楽線 現道



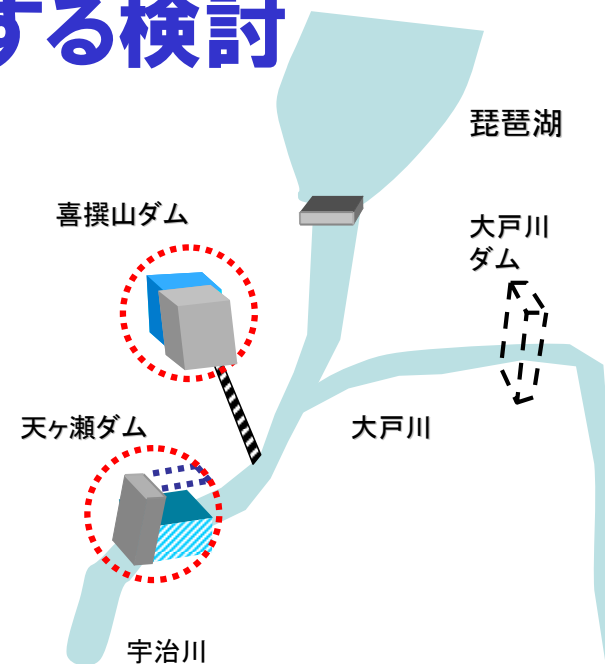
大津信楽線 現道



喜撰山ダム等既存施設の有効活用に関する検討

近畿地方整備局の検証結果

- ・喜撰山ダム等の既存施設を実運用において有効に活用することができる場合は、治水安全度を向上させることができる。
- ・しかし、確実に利用できるものではないため、計画に位置づけることはできない。



(学識者の意見)

これまで、

河田恵昭 京都大学防災研究所巨大災害防災センター長

寶馨 京都大学防災研究所教授

戸田圭一 京都大学防災研究所教授

中川博次 京都大学名誉教授（五十音順）

に検証結果をご説明し、妥当であると評価いただきました。